

夏休みを前に、神戸市は今月から市内の店舗の一角を無料で中高生に提供してもらう「まちなか自習室」を始めた。第1弾として、カフェや自動車ディーラー、ショッピングセンターなど計39カ

所が利用可能に。地域の民間事業者が生徒らの学習を応援してもらう新たな試みで、今後も拡大する予定という。
(井沢泰斗)

店舗の一角、市が中高生に無料提供

まちなか自習室 39カ所オープン

「友人と一緒に勉強して」

「無料で使える勉強場所があったら」。市が子育て施策を検討するため昨年2～4月に実施したアンケートでは、気軽に利用できる自習スペースを求める声が多く集まったという。図書館や文化センターな



中高生向けに開放されるフードコート＝西区森友3、イズミヤショッピングセンター神戸玉津(神戸市提供)

どには、市が提供する自習スペースが既にあるが、その数は十分ではなく、鉄道駅周辺に集中するという課題もあった。そこで自習スペースを市域に広く点在させるため、職員が企業や各店舗を回っ

て協力を依頼。39店舗が応じてくれたという。それぞれ4～30席を、比較的店内が空いている時間帯に提供してもらい、市は利用者1人につき150円の協力金を支払う。

利用対象は市内に在住、在学する中高生らの年代。まず専用のウェブサイトで

ら氏名や住所などを入力し、登録証を発行する。検索フォームで開いている店舗を見つけたら、直接店に行つてスタッフに登録証を見せることで入店できる。予約は不要。入店時と退店時に店の2次元コードを読み込むため、リアルタイムの利用人数も分かるとい

う。市は「放課後などに外で友人と一緒に勉強したい」というニーズは高い。市内のあちこちで、身近な自習室を利用できる環境を整えたい」としている。
まちなか自習室事務局 ☎ 078・3800・8267 (平日午前10時～午後5時)

2025年(令和7年)

7月16日水曜日

神戸新聞掲載